

組 織, 情 報, そ の 他

(1) 沿革

昭和22年林政統一による機構改革に伴い、林業試験研究機関を整備することになり、同年4月大阪営林局内の試験調査部門を編成替のうえ農林省林業試験場大阪支場として局内に併置された。

関西支場

- 昭和25. 4 京都市東山区七条大和大路に大阪支場京都分室設置さる
- 昭和27. 7 京都分室を廃止し、そのあとに支場を移転し京都支場と名称を改む
- 昭和28. 2 新たに伏見区桃山町に支場庁舎敷地として国有林の所属替をうけ、同時に桃山研究室を設置
- 昭和31. 3 庁舎・研究室を新築、移転
- 昭和34. 7 関西支場と名称を改む
- 昭和40. 3 研究室等を増改築
- 昭和41. 4 部制設置（育林、保護の2部）
 〃 防災研究室を岡山試験地から移設
- 昭和51. 11 庁舎・研究室（昭和31. 3新築のもの）を改築
- 昭和57. 12 鳥獣実験棟を新築

岡山試験地

- 昭和10. 8 岡山県上道郡高島村に水源涵養試験地として設置
- 昭和12. 12 林業試験場高島試験地と名称を改む
- 昭和22. 4 林業試験場大阪支場の所管となり、同支場高島分場と名称を改む
- 昭和27. 7 林業試験場京都支場高島分場と名称を改む
- 昭和34. 7 林業試験場関西支場岡山分場と名称を改む
- 昭和41. 4 林業試験場関西支場岡山試験地と名称を改む

(2) 土地および施設

1. 土地

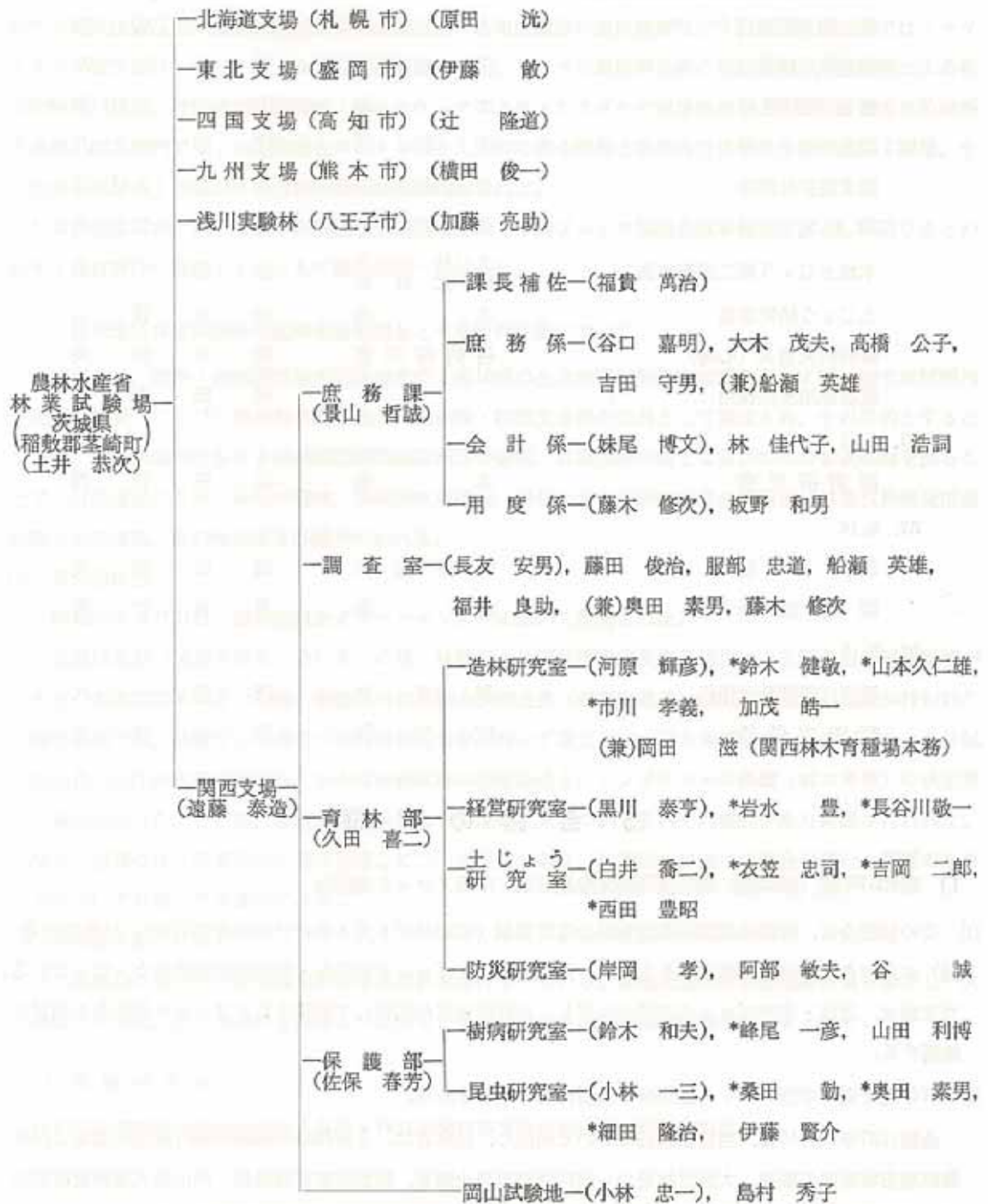
	関西支場	岡山試験地
庁舎敷地	60,669m ²	12,254m ² (67,897m ²)
内訳		
庁舎	11,450	(1,999)
苗畑	13,270	4,264
樹木園	7,951	7,990
見本林, 実験林	27,998	(65,898)
宿舍敷地	9,373	915
島津試験林	7,045	—
宇治見試験林	3,812	—
計	80,899m ²	13,169m ² (67,897m ²)—借地

2. 施設 (延べ面積)

	5棟 2,630m ²	1棟 347m ²
庁舎		
内訳		
研究室(本館)	1,507	
〃(別棟)	628	
会議室	166	
機械室	140	
試料室	189	
温室	2棟 139	—
ガラス室	1〃 61	—
隔離温室	1〃 51	—
殺菌培養室	1〃 48	—
樹病低温実験室	1〃 91	—
昆虫飼育室	1〃 105	—
鳥獣実験室	1〃 139	—
林木水耕実験室	1〃 26	—
材線虫媒介昆虫実験室	1〃 41	—
研究資料調整室	1〃 64	—
人工降雨室	1〃 19	—
連絡事務所	1〃 223	—
その他の	10〃 376	7棟 267
宿舍	14〃 1,497	2〃 195
計	42棟 5,510m ²	10棟 809m ²

(3) 組 織

(昭和58年3月31日現在)



注: { () はそれぞれの長
* は主任研究官

(4) 人のうごき

57. 4. 1

北海道支場庶務課職員厚生係長	庶務課	嶺野一義
庶務課長	本場	景山哲誠
庶務課用度係長	調査室	藤木修次
庶務課庶務係	本場	大木茂
調査室	庶務課	藤原一八
調査室併任解除	造林研究室	山本久仁雄
調査室併任	昆虫研究室	奥田素男
本場土じょう第二研究室長	土じょう研究室	佐藤俊
土じょう研究室長	本場	白井喬二
樹病研究室長(心得)	樹病研究室	鈴木和夫
庶務課用度係採用		米田和彦

57. 5. 1

樹病研究室	本場	山田利博
-------	----	------

57. 8. 16

退職	調査室長	岡田隆夫
調査室長	本場	長友安男

57. 9. 1

調査広報課刊行係長	調査室	藤原一八
調査室併任	庶務課	藤木修次

(5) 会議の開催

1) 昭和57年度(第10回)林業技術開発推進近畿・中国ブロック協議会

- (1) この協議会は、林業技術開発推進協議会運営要領(昭和48年6月8日付け48林野第108号、林野庁官通達)に基づき、毎年度開催されるもので、中央協議会・ブロック協議会・都道府県協議会からなっている。当支場は、近畿・中国ブロック協議会に属し、林野庁長官が招集して開催されるブロック協議会の運営を総括する。

- (2) 57年度近畿・中国ブロック協議会の概要は次の通りである。

会議は57年10月19日、当場会議室において開催し、出席者は、2府12県の林務部局行政担当者および林業試験指導機関の職員、大阪営林局から技術開発担当企画官、関西林木育種場長、同山陰支場育種研究室長、学職経験者として京都大学農学部赤井龍男助教授、菌茸研究所有田郁男研究部長であった。なお、林野庁からは研究普及課より浅田研究企画官、林業試験場(本場)から山口企画科長、当支場からは、支場長を始め、両部長、各研究室長と担当主任研究官、ならびに事務局として調査室長と係官が出席した。

会議は、林野庁、林業試験場、当支場長のあいさつの後、昨年度の会議で府県から提出された課題についての経過報告が林野庁と国立林試から行われ、続いて試験研究機関等における研究の動向について、国立林試から本場と支場、国立林木育種場から関西と山陰支場からそれぞれ説明があった。次いで、当支場長が議長となり、各府県から提案された課題について討議に入った。造林部門では：人工林の地方減退、ヒノキの耐やせ地抵抗性品種の問題、積雪地帯の造林技術、有用広葉樹の造林技術など9課題。保護部門では：マツクイムシ被害防除、スギ・ヒノキせん孔性害虫の問題、ヒノキの樹脂腐朽病の防除技術、大型獣類による被害防除等14課題。特用林産部門では：シイタケ・マツタケ・ヒラタケの栽培技術と、加工竹材の害虫防除等8課題。防災部門では：山腹崩壊とスギ・ヒノキ人工林の保全問題と海岸保安林の保全の問題で2課題。その他林業機械の1課題があり合計30課題が提案討議された。

なお、協議内容については「林業技術開発推進近畿・中国ブロック協議会議事録要旨」として取りまとめ、58年1月林野庁へ提出するとともに関係機関へ配付した。

2) 関西地区林業試験研究機関連絡協議会とその研究活動について

本協議会は、関西・四国両支場対応地域内の2府16県の公立林業試験研究機関の長および、国立林試関西・四国支場長、ならびに関西林木育種場長、同山陰・四国支場長を会員として構成され、その目的とすることは、この地域内における林業試験研究機関相互の連携、林業技術の向上ならびにその普及発達を図ることと、目的達成のため、総会の開催、共同研究の推進、研修会および研究発表会の開催、林業技術開発推進協議会との連絡、その他必要な事業が行われる。

(1) 第35回総会

昭和57年9月21日、福井県総合グリーンセンターにおいて開催された。

会議は会長（遠藤支場長）あいさつの後、林野庁より坪井研究普及課長補佐による58予等の概要説明があり、主催県のあいさつの後、新会員の自己紹介、副会長（四国支場長）を座長に選出し協議が行われた。報告事項では、林野庁より最近の研究情勢報告を、続いて国立林試と林木育種場から報告があり、全林試協会長（広島県林試場長）からは全林試協の活動経過と、シンポジウムの課題（林木育種）の決定等の報告があった。その後、各研究部会長から1年間の成果についてそれぞれ報告があり討議が行われた。なお、協議の後、研究部会の運営見直しについて提案があり、次期総会に向けて部会の統合と運営のあり方について見直しを実施中である。

(2) 各部会活動の状況

当協議会には9つの研究部会があり共同研究を行なっている。部会活動には当支場研究員も参加し、共同研究の実施、研究情報の交換および助言などを行い、公立研究機関と密接な連絡をとっている。

3) 業務報告会

昭和57年度業務報告会は58年5月18・19日の両日当支場大会議室で開催された。

(6) 受託研究等調査・指導

用 務	委 託 者	用 務 先	実施月日	出 張 者	
				研 究 室	氏 名
重要水源山地整備治山事業調査の現地指導	林業の土木コンサル タツツ大阪支所 長	山口県柳 井市	57. 7. 12 ～ 7. 16	土じょう ク	白井 喬二 吉岡 二郎
ダム貯水池内植生調査	日本林業技術協会 理事長	山口県美 和町 広島県五 日市町	57. 7. 26 ～ 7. 28	造 林 土じょう	河原 輝彦 白井 喬二
山村振興地域調査の本調査	全国農業構造改善 協会会長	徳島県谷 山村	57. 8. 16 ～ 8. 18	経 営	黒川 泰亨
ヒノキ大径木の枯損原因調査および 特産部会講師	和歌山県林業セン ター所長	和歌山県 白浜町	57. 9. 16 ～ 9. 18	保護部長	佐保 春芳
タイ造林研究訓練技術協力計画短期 専門家としての業務打合せ	国際協力事業団理 事	茨城県筑 波	57. 11. 8 ～ 11. 9	土じょう	吉岡 二郎
森林の公益的機能増進基礎調査	水利科学研究所理 事長	高知県馬 路村	57. 11. 15 ～ 11. 18	経 営	黒川 泰亨
民有林人工林収獲予想表および林分 材積表作成調査	日本林業技術協会 理事長	兵庫県山 崎町	57. 11. 22 ～ 11. 25	ク	長谷川敬一
ブラジル国サンパウロ林業研究協力 プロジェクトカウンターパート研修 員の研修旅行同行	国際協力事業団理 事	岡 山 市	57. 11. 24 ～ 11. 25	防 災	岸岡 孝
森林病害調査指導	徳島県那賀郡上那 賀町長	徳島県上 那賀町	57. 12. 13 ～ 12. 16	樹 病	鈴木 和夫
インドネシア南スマトラ森林造成技 術協力計画短期専門家派遣に係る打 合せ	国際協力事業団理 事	東 京 都	58. 1. 10 ～ 1. 11	保護部長	佐保 春芳

(7) 当 場 職 員 研 修

氏 名	研 修 先	研 修 期 間	研 修 内 容
米 田 和 彦	大阪合同庁舎第2号館	57. 4. 6~ 4. 9	昭和57年度近畿地区新採用職員研修
山 田 利 博	林業試験場関西支場	57. 5. 1~ 9. 30	昭和57年度新規採用研究員研修
板 野 和 男	大阪合同庁舎第2号館	57. 11. 9~ 11. 19	第21回近畿地区中堅係員研修
伊 藤 賢 介	筑波農林研究団地共同利用施設	58. 1. 17~ 1. 29	昭和57年度農林水産省試験研究機関等研究員の数理統計短期集合研修

(8) 技 術 研 修 受 入 れ

氏 名	所 属 機 関	研 修 期 間	研 修 内 容
金 山 信 義	島根県林業試験場	57. 8. 1~ 10. 31	森林の更新および保育に関する手法および分析技術
高 橋 昌 隆	徳島県	58. 1. 20~ 2. 19	スギ・ヒノキ穿孔性害虫の発生環境要因の解析と新防除技術

(9) 海 外 出 張

氏 名	出 張 先	出 張 期 間	研 究 課 題
鈴 木 健 敬	フ ィ リ ピ ン	56. 1. 21 ~ 58. 6. 19	フタバガキ科樹種の更新ならびに竹の造林に関する研究
吉 岡 二 郎	タ イ	57. 11. 17~ 12. 23	造林研究訓練, 土壌専門家
佐 保 春 芳	イ ン ド ネ シ ア	58. 1. 25~ 3. 30	南スマトラ森林造成, 保護専門家
加 茂 皓 一	フ ィ リ ピ ン	58. 1. 30~ 4. 14	熱帯地域における早生樹種の生長解析に関する研究

(10) 見 学 者

		内 訳						計
		国	府 県	大 学	そ の 他 校	林業団体	一 般	
国 内	件 数	34	21	0	2	19	5	81
	人 数	68	103	0	200	86	52	509
国 外	件 数	韓国 (7), 中国 (5), タイ (3), ブラジル (7), パラグアイ (2), フィリピン (1), ペルー (1), 台湾 (6), ビルマ (1), マレーシア (1), メキシコ (1)						12
	人 数							36

(11) 試験地一覧表

試 験 地 名	営林署	担当区	林 小 班		樹 種		面 積	設定 年度	終了 年度	担 当 研究室
高取山スギ人工林皆伐用材林作 業収穫試験地	奈良	下市	56 49	ほ ほ	ス	ギ	0.60	昭10	昭 125	経営
高取山ヒノキ人工林	〃	〃	56	ほ	ヒ	ノ キ	0.40	〃10	〃 92	〃
高野山スギ人工林	高野	高野	31	ろ	ス	ギ	0.17	〃10	〃 107	〃
高野山ヒノキ人工林	〃	〃	31 44	ろ に	ヒ	ノ キ	1.07	〃10	〃 107	〃
滝谷スギ人工林	山崎	西谷	136	り	ス	ギ	2.25	〃11	〃 94	〃
御弁当谷ヒノキ人工林	亀山	北勢	37	に	ヒ	ノ キ	0.98	〃12	〃 103	〃
新重山ヒノキ人工林	福山	井関	49	と	〃		1.05	〃12	〃 111	〃
遠藤スギその他択伐用材林	津山	上齊 原	39	ろ	ス	ギ	1.67	〃12	〃 132	〃
西山アカマツ天然林皆伐用材林	西条	大草	1,032	い	ア カ マ ツ		1.02	〃12	〃 92	〃
滑山スギ人工林	山口	滑	11	り	ス	ギ	1.60	〃13	〃 102	〃
滑山ヒノキ人工林	〃	八坂	20	ほ	ヒ	ノ キ	0.67	〃13	〃 102	〃
奥島山アカマツ天然林面伐用材	大津	八幡	71 79	と は	ア カ マ ツ		5.18 3.23	〃13	〃 63	〃
地獄谷アカマツ天然林その他択 伐用材林	奈良	郡山	17	わ	{ア ス ヒ ノ キ	カ マ ツ ギ キ	1.73	〃15	〃 117	〃
篠谷山スギ人工林	倉吉	根雨	1,015	い	ス	ギ	0.80	〃34	〃 119	〃
茗荷湖山ヒノキ人工林	新宮	飛鳥 第二	41	へ	ヒ	ノ キ	0.71	〃35	〃 145	〃
白見スギ人工林	〃	新宮	5	ほ	ス	ギ	1.24	〃37	〃 147	〃
六万山スギ人工林	金沢	白峰	55	は	〃		0.79	〃37	〃 142	〃
西条保育形式試験地	西条	志和	11	へ	ア カ マ ツ		2.15	〃33	〃 69	造林
福山	福山	上下	16	へ	〃		2.25	〃33	〃 69	〃
吉永植栽比較試験地	岡山	吉永	1,005	ほ	ス ギ 外5		1.54	〃41	〃 71	〃
スギ山崎短期育成試験地	山崎	蔦沢	25	へ	ス	ギ	1.69	〃37	〃 69	〃
アカマツ福山	福山	三和	108	ぬ	ア カ マ ツ		1.75	〃37	〃 69	〃
材質育種福山試験地	〃	総領	119	へ	〃		3.168	〃42	〃 71	〃
馬乗山試験地	〃	加茂	69	ち	スギ・ヒノキ		6.50	〃43	〃 70	〃
林地肥培高野試験地	高野	高野	4	い	ス	ギ	0.16	〃46	〃 71	土じ ょう
竜の口山量水試験地	岡山	岡山	11	ほ・に・は	ア カ マ ツ 外		44.99	〃10	〃 72	防災

(12) 気 象 年 表

関西支場構内および岡山試験地で、主な気象要素について常時観測を実施しているが、昭和57年の観測結果は別表のとおりである。支場構内の雨量および気温を昭和56年と昭和57年を比較すると56年の7、8月の両月で186.5mmであったが57年では642.5mmと大巾な差が生じている。また気温では56年の7月平均最高気温が33.9度であったが57年では29.4度で4.5度低く、11月では13.6度で57年は18.1度と4.5度も高かった。このことは例年と比較しても異常と言える。なお観測要領は気象観測法に従い定時9時に観測した。

(服部 忠道)

支 場 構 内

標高65m 北緯 34°56'
東経135°46'

57年 月	気 温 °C 120cm							気 温 °C 10cm							気 温 別 日 数 120cm				
	平均 9 h	平均 最高	平均 最低	最高	起日	最低	起日	平均 9 h	平均 最高	平均 最低	最高	起日	最低	起日	最 高 < 0°C	最 高 ≥ 25°C	最 低 < -10°C	最 低 < 0°C	最 低 ≥ 25°C
1	3.4	8.2	0	12.5	4	-3.3	31	3.1	8.2	-0.5	12.7	4	-4.0	31					18
2	4.3	8.3	0.7	12.0	18	-2.2	11	4.3	9.0	0.4	12.9	18	-3.0	11, 16					11
3	7.6	14.3	2.6	22.1	23	-2.2	8	7.4	14.0	2.6	22.0	23	-2.0	4, 9					9
4	13.2	19.6	7.4	27.7	25	0.8	11	13.0	19.4	7.5	27.0	25	1.1	11		4			
5	20.7	26.5	13.9	32.9	11	7.3	23	20.7	26.3	14.1	32.0	11	7.9	23		20			
6	22.5	28.2	16.2	32.1	12	12.0	15	22.4	28.1	16.6	32.2	12	12.1	15		27			
7	24.9	29.4	20.5	34.0	29	14.0	1	25.0	29.1	20.9	33.4	29	14.1	1		26			
8	24.0	32.0	22.0	35.5	6	20.0	6	26.9	31.7	21.9	35.0	6, 15	19.0	6		30			2
9	22.1	26.8	17.9	33.5	1	13.0	29	22.2	26.8	18.2	32.7	1	13.8	29		22			
10	16.9	23.5	12.2	29.0	13	4.7	27	17.1	23.2	12.3	28.0	13	5.3	27		12			
11	12.8	18.1	9.1	22.3	9	2.9	28	12.7	17.9	9.2	22.0	8, 9	3.2	28					
12	5.4	12.8	2.8	17.8	3	-1.2	19	5.3	12.3	2.7	17.5	3	-1.7	19					4
年	15.1	20.6	10.4					15.0	20.5	10.5						141			42
極値				35.5	8.6	-3.3	1, 31				35.0	8.6	-4.0	1, 31					

57年 月	湿 度 %			降 水 量 (mm)					量 別 降 水 日 数						
	平均 9 h	最小	起 日	総 量	最大 日量	起 日	最大1 時間量	起 日	≥ 1 mm	≥ 10 mm	≥ 30 mm	≥ 50 mm	≥ 100 mm	≥ 300 mm	
1	74	22	11	22.0	12.0	5	5.5	5	6	1					
2	74	26	9, 12, 16	43.0	11.5	17	4.5	20	5	2					
3	65	15	29	102.0	37.5	5	9.0	5	10	4	1				
4	61	17	23	139.0	29.5	4	8.0	1	13	6					
5	60	13	8	139.0	37.0	14	12.5	14	7	5	2				
6	65	21	15	106.0	34.5	3	10.0	3	7	4	1				
7	68	28	1	306.5	55.5	14	19.0	14	15	9	4	1			
8	59	38	6, 28	336.0	138.0	1	24.0	1, 30	15	7	3	2	1		
9	69	30	5	115.5	35.0	12	12.0	20	10	4	1				
10	69	15	13	31.0	11.5	19	7.0	9	4	1					
11	72	29	3	128.5	39.0	30	11.0	30	12	5	1				
12	73	30	3	41.5	17.0	26	4.0	5	4	2					
年	67			1,510.0					108	50	13	3	1		
極値		13	5, 8		138.0	8.1	24.0	8.1, 30							

岡山試験地

標高40m 北緯 34°42'
東経133°58'

57年 月	気			温 °C				湿度 %			平均水 蒸気圧 (mm) 9 h	平均 蒸発量 (mm) 9 h
	平均 9 h	平均 最高	平均 最低	最高	起日	最低	起日	平均 9 h	最小	起日		
1	1.2	9.0	-2.1	9.4	5	-5.9	29	90	67	27	6.2	1.3
2	1.9	8.7	-2.2	13.4	22	-5.8	11	84	55	15	6.0	1.2
3	7.2	14.5	1.5	21.3	25	-4.6	9	73	55	27	7.5	2.6
4	12.6	18.6	5.6	25.4	27	-0.8	11	82	65	10	12.2	3.7
5	18.9	25.3	12.5	30.4	13	5.0	15	84	69	5	18.5	3.8
6	21.7	26.9	15.4	30.8	14	10.5	28	82	59	21	20.8	4.4
7	23.8	28.3	19.8	31.7	29	12.2	1	88	72	22	25.9	4.4
8	26.1	30.4	21.8	33.0	9	18.5	30	85	67	29	28.5	3.7
9	21.0	26.1	16.6	32.2	4	12.0	5	85	69	13	20.9	3.1
10	15.4	22.2	11.0	26.1	15	2.6	26	85	64	17	15.1	2.4
11	11.5	17.4	7.4	24.8	10	-0.1	28	88	43	12	12.3	1.3
12	4.0	12.0	1.1	18.9	1	-4.5	19	90	65	23	7.5	1.0
年	13.8	20.0	9.0	33.0	8.9	-5.9	1.29	85	55	2.15	15.1	2.7
累年平均 過去値	14.6	19.6	9.3					78			14.4	2.9
				37.2	21.8.10	-9.8	56.2.27		21	41.12.2		

57年 月	降水量 (mm)			量別降水日数						気温別日数				
	総量	最大 日量	起日	≥1.0 mm	≥10 mm	≥30 mm	≥50 mm	≥100 mm	≥300 mm	最高 ≥25°C	最高 0°C	最低 ≥0°C	最低 -10°C	最低 ≥25°C
1	18.6	11.2	5	3	1	—	—	—	—	—	—	23	—	—
2	30.4	16.1	5	6	1	—	—	—	—	—	—	24	—	—
3	98.9	30.9	13	8	4	1	—	—	—	—	—	13	—	—
4	109.5	23.1	8	13	3	—	—	—	—	1	—	1	—	—
5	70.9	11.2	7	10	1	—	—	—	—	19	—	—	—	—
6	69.5	47.2	3	5	1	1	—	—	—	24	—	—	—	—
7	282.3	51.7	15	15	8	4	2	—	—	27	—	—	1	—
8	157.5	37.9	2	12	6	1	—	—	—	30	—	—	—	—
9	165.5	77.8	25	11	4	1	1	—	—	22	—	—	—	—
10	39.3	14.5	20	6	2	—	—	—	—	6	—	—	—	—
11	94.6	29.6	30	11	3	—	—	—	—	—	—	1	—	—
12	17.2	7.8	26	3	—	—	—	—	—	—	—	11	—	—
年	1,154.2	77.8	9.25	103	34	8	3	—	—	129	—	73	1	—
累年平均 過去値	1,202.9													

57年 月	現 象 日 数											季 節					
	晴	曇天	降水	暴風	霜	霜柱	霧	雪	吹雪	積雪	結氷	種 別	初 日		終 日		中間日数 本 年
													本年	極最早	本年	極最晩	
1	23	8	—	—	13	7	—	5	—	1	21	気温最低 <0°C	56. 11.10	54. 11.14	57. 4.11	37. 4.19	153
2	15	10	2	—	14	5	2	2	—	—	14						
3	20	7	4	—	9	—	—	2	—	—	9	霜	56. 11.10	28. 10.15	56. 4.19	33. 5.13	161
4	20	5	5	—	2	—	1	—	—	—	—						
5	18	10	3	—	—	—	—	—	—	—	—	霜 柱	56. 11.4	54. 12.21	57. 2.18	13. 4.10	107
6	15	13	2	—	—	—	—	—	—	—	—						
7	11	15	5	—	—	—	—	—	—	—	—	雪	56. 12.2	13. 11.12	57. 3.25	14. 4.2	114
8	14	15	2	1	—	—	—	—	—	—	—						
9	15	11	4	1	—	—	—	—	—	—	—	積 雪	57. 1.29	40. 12.17	57. 1.29	14. 4.2	1
10	21	8	2	—	—	—	1	—	—	—	—						
11	15	10	5	—	2	—	3	—	—	—	1	結 氷	56. 11.10	45. 11.12	57. 3.29	33. 4.15	140
12	25	5	1	—	15	3	2	—	—	—	11						
年	212	117	35	2	55	15	9	9	—	1	56						
累年平均	180	150	57														

昭和58年10月8日印刷

昭和58年10月15日発行

発行所 農林水産省林業試験場関西支場

〒612 京都市伏見区桃山町永井久太郎官有地
TEL (075) 611-1201

印刷所 中西印刷株式会社

京都市上京区上立売小川東入
TEL (075) 441-3155